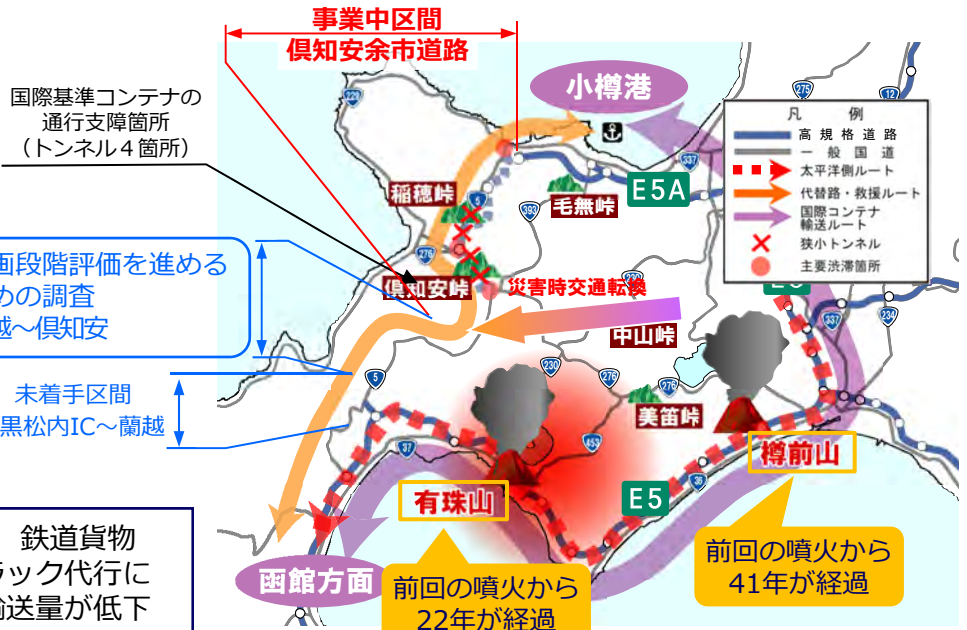


【大規模災害時の代替ルートの確保】

平成12年の有珠山噴火により、北海道縦貫自動車道が約15ヶ月間通行止めになったほか、JR室蘭線も不通となるなど、北海道と本州間の人流・物流に重大な影響が出ました。大規模災害（噴火・地震・津波）に備えて信頼性の高い代替ルートの整備が必要です。

▼有珠山の噴火周期

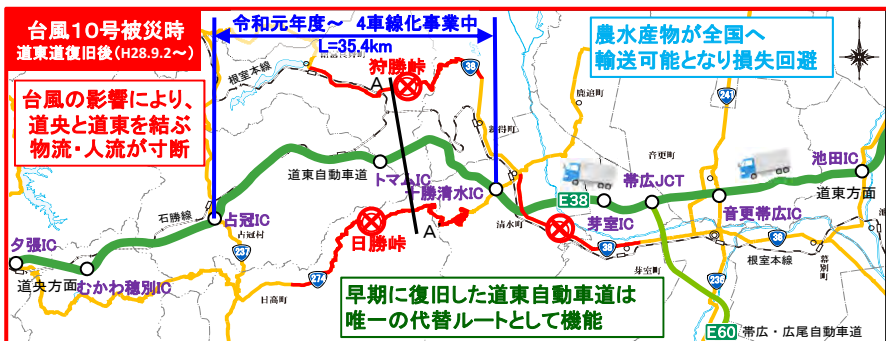


2000年の有珠山噴火時には、鉄道貨物輸送は一般道を利用したトラック代行による輸送に変更したため、輸送量が低下し輸送時間も増加。

【道東自動車道における暫定2車線区間の4車線化】

平成28年8月の台風で、道央と道東を結ぶ国道・鉄道が長期間に渡り通行止めとなりました。

道東自動車道も被災しましたが、わずか1日で復旧し、物流や人流を支えました。しかし、暫定2車線区間であるため、事故処理や緊急工事の際には通行止めになるなど、安定的な交通の確保が課題となりました。災害時の迅速な復旧のためにも4車線化が必要です。

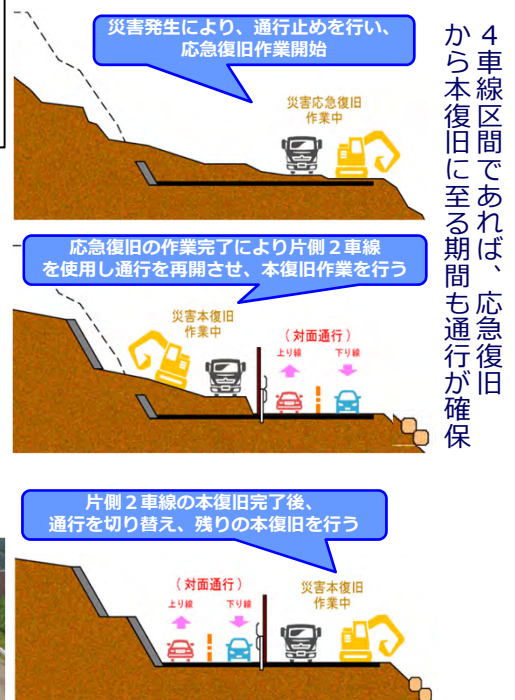


【通行止め期間】

道東自動車道	平成28年8月30日(被災直後)～平成28年9月1日(約2日間)
国道38号狩勝峠	平成28年8月30日(被災直後)～平成28年9月11日(約12日間)
国道274号日勝峠	平成28年8月30日(被災直後)～平成28年10月27日(約14ヶ月間)



4車線区間の復旧イメージ



火山砂防施設や土砂災害対策施設など自然災害に備えた災害防止施設の整備や災害に強いまちづくりなどの推進

主な要望箇所

●自然災害に備えた安全性の高い災害防止施設の整備

・火山砂防施設や土砂災害対策施設の整備

【^{たるまえ}樽前山（^{とがち}苫小牧市）、^{こまがたけ}十勝岳（^{こまがたけ}美瑛町、^{こまがたけ}上富良野町）、^{こまがたけ}北海道駒ヶ岳（^{こまがたけ}森町）、^{こまがたけ}石狩川水系（^{こまがたけ}札幌市など）、^{あつまがわ}厚真川水系（^{あつまがわ}厚真町）、^{あつまがわ}十勝川水系（^{あつまがわ}帯広市など）、^{あつまがわ}小樽高島1丁目・2丁目1地区（^{あつまがわ}小樽市）、^{あつまがわ}気門別川（^{あつまがわ}伊達市）、^{あつまがわ}飛生川（^{あつまがわ}白老町）、^{あつまがわ}九号川（^{あつまがわ}新得町）、^{あつまがわ}オチウシナイ川（^{あつまがわ}利尻富士町）など】

・病院、老人ホーム、幼稚園などの要配慮者利用施設を守る土砂災害対策の推進

【^{あつまがわ}茂生1の沢川（^{あつまがわ}石狩市）、^{あつまがわ}芦別本町地区（^{あつまがわ}芦別市）、^{あつまがわ}小樽蘭島1丁目4地区（^{あつまがわ}小樽市）、^{あつまがわ}長万部高砂1地区（^{あつまがわ}長万部町）、^{あつまがわ}大林川（^{あつまがわ}洞爺湖町）、^{あつまがわ}遠軽西町2丁目1地区（^{あつまがわ}遠軽町）など】

・高潮・侵食・津波対策などの海岸保全施設の整備

【^{あつまがわ}度杭崎海岸（^{あつまがわ}森町）、^{あつまがわ}海岸町海岸（^{あつまがわ}羅臼町）、^{あつまがわ}大岬海岸（^{あつまがわ}稚内市）、^{あつまがわ}虎杖浜海岸（^{あつまがわ}白老町）、^{あつまがわ}胆振海岸（^{あつまがわ}白老町）、^{あつまがわ}浜中海岸（^{あつまがわ}浜中町）、^{あつまがわ}野付崎海岸（^{あつまがわ}標津町・^{あつまがわ}別海町）など】

●盛土の安全確保対策など災害に強いまちづくり

・盛土等に伴う災害防止に関する基本方針を早期策定、財政的及び技術的支援 【道内全域】

・大規模災害から人命・財産を守るための住宅や建築物の耐震化の促進

【北留萌消防組合消防署（^{あつまがわ}天塩町）など】

・災害時の避難、防災活動に寄与する公園等の整備

【^{あつまがわ}東光スポーツ公園（^{あつまがわ}旭川市）など】

・浸水被害から都市機能を守るための下水道の整備

【^{あつまがわ}旭川市、^{あつまがわ}帯広市、^{あつまがわ}苫小牧市など】

・市街地における地区レベルの避難路・避難施設等の整備

【^{あつまがわ}早来地区（^{あつまがわ}安平町）、^{あつまがわ}幌内・富里地区（^{あつまがわ}厚真町）、^{あつまがわ}神居地区（^{あつまがわ}旭川市）、^{あつまがわ}港町地区（^{あつまがわ}厚岸町）など】

●水害や大雪などによる被害を軽減する危機管理体制の充実と地域防災力の向上

・大規模氾濫減災協議会の推進 【道内全域】

・洪水時の河川監視の充実 【道内全域】

・大雪に備えた危機管理体制の充実 【道内全域】

・活発化する火山活動に備えた対策の推進

【^{たるまえ}樽前山、^{うす}有珠山、^{こまがたけ}北海道駒ヶ岳など】

●建設産業の担い手確保や持続可能な経営への支援

・技術・技能の継承のための関係支援事業の継続及び予算の確保 【道内全域】

・地域が主体となって行う担い手確保・育成の取組を支援する制度の創設 【道内全域】

・地域の経済や雇用などを支える建設産業の経営が持続可能となる安定期な予算の確保 【道内全域】

【火山砂防施設や土砂災害対策施設の整備】

▼十勝岳（上富良野町）



【高潮・侵食・津波対策施設などの海岸保全施設整備】

▼度杭崎海岸（森町）



【住宅や建築物の耐震化の促進】

▼市民会館（函館市）



【大雪に備えた危機管理体制の充実】

▼令和4年2月札幌圏を中心とした大雪の対応検証

＜各道路管理者等の連携強化＞

【シーズン前 連絡調整会議】※除雪前に実施
 ・今冬の除雪計画（路線、地域ルール等）
 ・連絡体制（通常時、豪雪時）
 ・各管理者の人員・保有機械
 ・その他（安全管理、機械貸出の周知等）

【中間 連絡調整会議】※除排雪期間中
 ・豪雪時など必要に応じて調整会議開催

【シーズン後 連絡調整会議】※融雪後に実施
 ・道路除排雪結果の報告
 ・意見交換（次年度の課題、改善点）

【市街地における地区レベルの避難路・避難施設等の整備】

▼港町地区（厚岸町）



【建設産業の担い手確保や持続可能な経営への支援】

▼高校生と若手建設産業業者との意見交換会

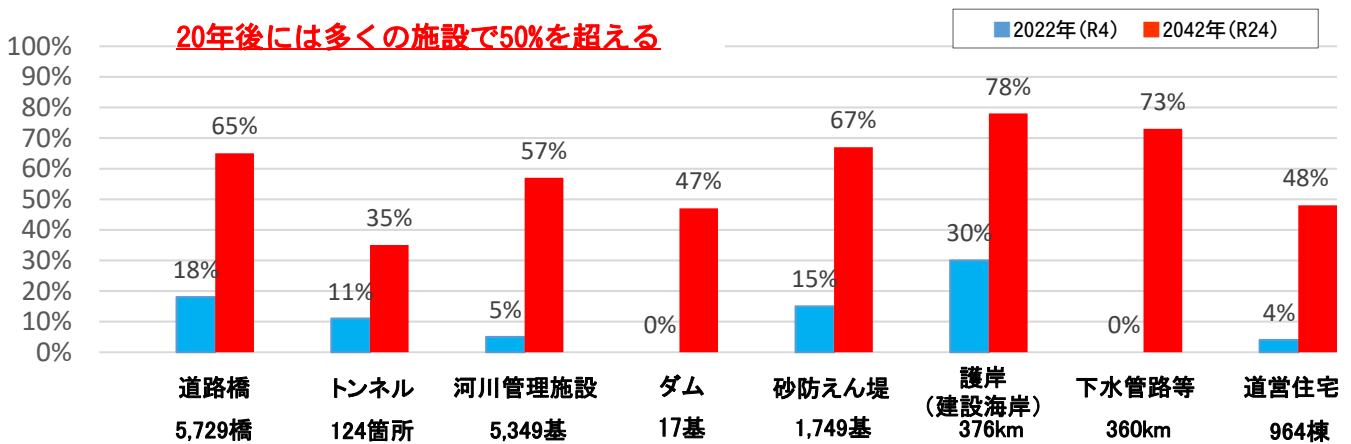


事後保全型から予防保全型のメンテナンスに移行するためには、**老朽化対策予算の確実な確保**や、維持管理に活用可能な交付金制度創設など、**老朽化対策に係る財政支援の拡充が必要**！

■ 予防保全型インフラメンテナンスへの移行に向けた老朽化対策

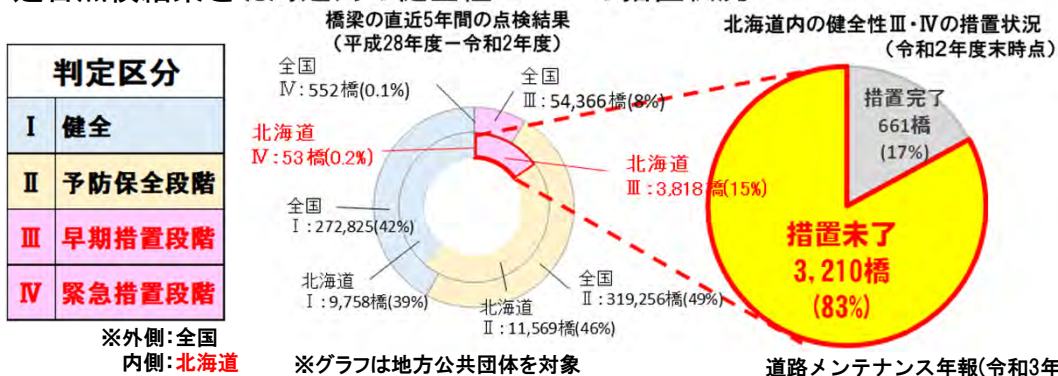
北海道では、高度経済成長期に整備された大量の社会資本が、今後一斉に更新時期を迎える。限られた財源で、効率的・効果的な維持管理を行うためには、社会資本の機能に支障が生じる前に対策を行う「予防保全」が必要であるが、早期・緊急措置の対象施設が多く、対策コストが膨大であるため、予防保全への移行が遅れている状況。

● 建設後50年を経過する施設の割合



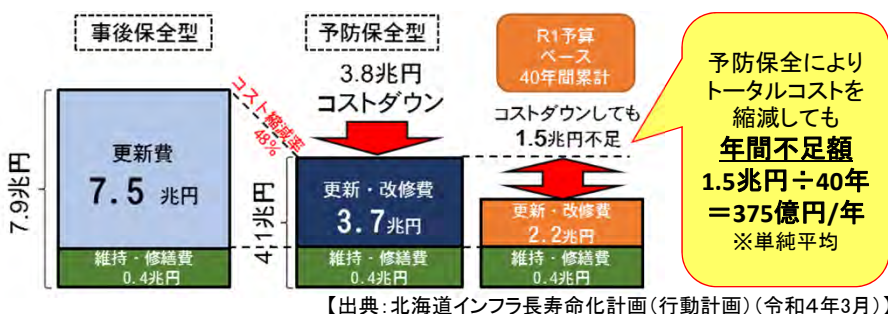
注1) 管理施設数はR3.3末時点 注2) 河川管理施設は、堰、樋門樋管、水門、排水機場を示す

● 橋梁の1巡目点検結果と北海道内の健全性Ⅲ・Ⅳの措置状況



※道が管理する施設の維持管理・更新等に係る経費の見込み額 (今後40年間の推計)

● 予防保全によるトータルコスト縮減



▼ 橋梁



▼ 樋門



◎社会資本の戦略的な維持管理・更新、耐震化

「北海道インフラ長寿命化計画」に基づく長寿命化の取組など社会資本の老朽化対策や社会資本や建築物などの耐震化の推進

主な要望箇所

●社会資本の老朽化対策、長寿命化の取組や既存ストックの有効活用

・公共施設の老朽化、長寿命化の取組や既存社会資本の有効活用

【白老橋（白老町）【直轄代行】、平成大橋（旭川市）、錦岡跨線橋（苫小牧市）、新川（札幌市）、頓別川（浜頓別町、中頓別町）、有明ダム（初山別村）、野幌総合運動公園（江別市）、パンケヌシ川（日高町）石狩川流域下水道（滝川市ほか）、下水道施設（函館市、小樽市ほか）、日吉町A団地（函館市）、北進団地（北見市）、標津海岸（標津町）、山越海岸（八雲町）、野塚海岸（積丹町）など】

●社会資本や建築物などの耐震化

・道路施設や建築物などの耐震化

【ニセコ大橋（ニセコ町）、ときわ橋（標茶町）、十勝川流域下水道（帯広市ほか）、下水道施設（苫小牧市）、ホテル旅館等大規模施設など】

●インフラ長寿命化に向けた連携体制の推進

・地方公共団体職員の技術力確保、国や市町村などとの連携強化

【道内全域】

【構造物の劣化状況】

▼道路（橋梁）



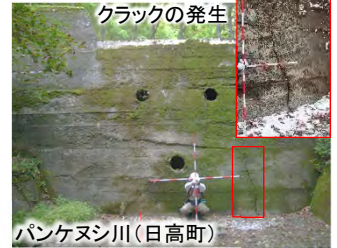
▼道路照明



▼河川管理施設（樋門）



▼砂防堰堤



▼海岸保全施設



▼下水道ポンプ施設



▼公営住宅



▼観測施設（河川情報）



【下水道施設の老朽化】

▼改築更新の予算推移

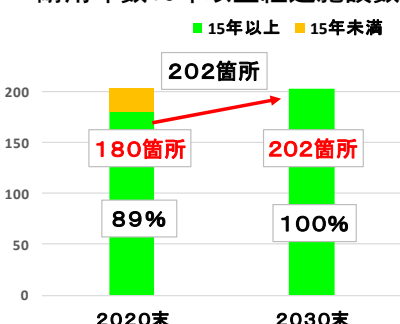
（単位：億円）
※札幌市除く



老朽化に伴う改築更新の必要額は下水道予算の約3割から約8割に上昇し、合流改善などの事業の予算を圧迫している。

▼処理場施設（機械設備等）

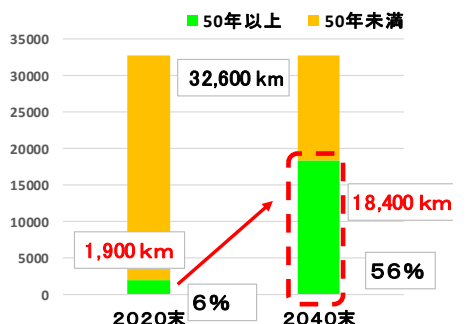
耐用年数15年以上経過施設数



既に15年以上が経過している処理場施設が約9割となっており、機械設備等の更新が急務。

▼管渠

耐用年数50年以上経過施設数



20年後には50年以上を経過する管渠が約5割となるため、長寿命化の確実な実施が必要。

【インフラ長寿命化に向けた連携体制の推進】

▼職員の技術力確保

新任技術職員研修



機能診断研修



▼利用者の理解と協働の推進

市民団体による道路植栽



北海道インフラツアー



美唄ダム・徳富ダム見学
令和元年8月24日(参加者:29名)

道路パネル展



▼市町村等への支援

北海道道路メンテナンス会議



橋梁点検に関する講習会



▼担い手の育成・確保に向けた発注者としての取組
インターンシップ



月形幌向線(昭栄橋)現場説明
平成30年8月21日(学生:10名)

高校生を対象とした現場見学会



高校生を対象としたICT体験講習会



ドローン操縦体験